

道議選の 明春の

大野氏の出馬決まる



足寄町から立起させるべきであるというにて、昨年一月の町議会の全員議員懇談会で意見がまとまり、候補者の選考は大滝謙長と小林町長を世話人にあげ、両親、家族の諒承も得て出馬の決意を示したので正式に推薦を決定、このあと自民党支部(鷺足賢支部長)の役員会でもとりあげて党公認候補として推し立てられていますが、これらの支部が独自候補を起してない、さりは同調することになるものとみられるので、近く支部大会をひらいて大野氏の指名にもちこむ」といっています。

これによつて一昨年二月に三月十二日からの新年予算町議会を前にしてひらいた三選会の総会で大野氏の自民党の本別、陸別、浦幌、足寄四支部間の道議選が両親、家族の諒承も得て出馬の決意を示したので正式に推薦を決定するとのことです。国民党公認が得られて当選の可能性がある人をして町内の自民党、社会党、共産党、公明党の各支部にたゞじて立起を呼びかけていましたが、これほどぞ政黨から出ても地域のために举町体制で成功させようという、他意のない足寄大野耕太郎氏の出馬が本決まりとなりました。

個人ブレイや政党エゴをさけたこの道議選新戦術の玉のコシ?をめぐつて各政黨支部の出方があそタツいて立起を表明したことが刺

さされいていたものですが、このほどようやく自民党から

大野耕太郎氏の出馬が本決まりとなりました。

このほどようやく自民党から

大野耕太郎氏の出馬が本決まりとなり